

## II-2 褥瘡新規発生率

【アウトカム】

### ●指標の意義

- ・褥瘡予防対策は、提供されるべき医療の重要な項目であり、栄養管理、ケアの質評価にかかわる指標。
- ・褥瘡アセスメント、予防アプローチの組織化の促進。

### ●指標の計算式、分母・分子の解釈

	各指標の計算式と分母・分子の項目名	分母・分子の解釈
分子	入院後に新規に発生した褥瘡の数(別部位は1として計測)	ひとりの患者でも複数発生した場合はその個数を算出する。
分母	調査月の新入院患者数+前月最終日在院患者数(24時現在)	
収集期間	1ヶ月毎	
調整方法		

### ●考察

日本褥瘡学会の「褥瘡有病率」「褥瘡推定発生率」は「調査日に褥瘡を保有する患者数」等として褥瘡の深さや大きさなどで区分はしていません。民医連指標も「深さ」など限定せず、「持続する発赤」(d1あるいはステージI)事例から、同一患者で複数あれば複数個としてカウントしています。

今回の2011年7～12月の調査では、最大値5.47%、最小値0.07%、中央値1.24%、平均値1.48%でした。

最大値5.47%である病院は、医師2名を含む褥瘡対策チームが毎週回診して褥瘡を見逃さない取り組みをしており、早期発見する仕組みづくりや看護スタッフを中心とした褥瘡管理への「感度」を高めることを意識的に追求しているといいます。褥瘡対策チームのスタッフ構成や回診頻度、病院内のリーダーシップの発揮など今後も充実させながら、指標データを活用して質の向上をはかる必要があります。

参考:定義が違うので単純に比較はできませんが、日本褥瘡学会は「褥瘡有病率」病院0.96～3.32%、「褥瘡推定発生率」病院0.60～1.76% (2006年)の数値をガイドラインに記しています。

#### 【改善事例】

- ・褥瘡対策委員会においても、「褥瘡治療計画書」については意識していたが、あらためて新規褥瘡発生率を下げるこことを意識し始めた。
- ・全国的に比較すると発生率が突出して高かったことの分析結果として、当院でのN S Tチームによるケアの緻密性が高いことやマットの状態に起因していること等が考えられた。短絡的に抑制率の高さや寝たきり患者が多いといった現象のみに捉われることなく、集団的に討議して対策を行うといった活動に結びついていると評価している。

分子：入院後に新規に発生した褥創の数（別部位は1として計測）

分母：調査月の新規入院患者数 + 前月最終日在院患者数（24時現在）

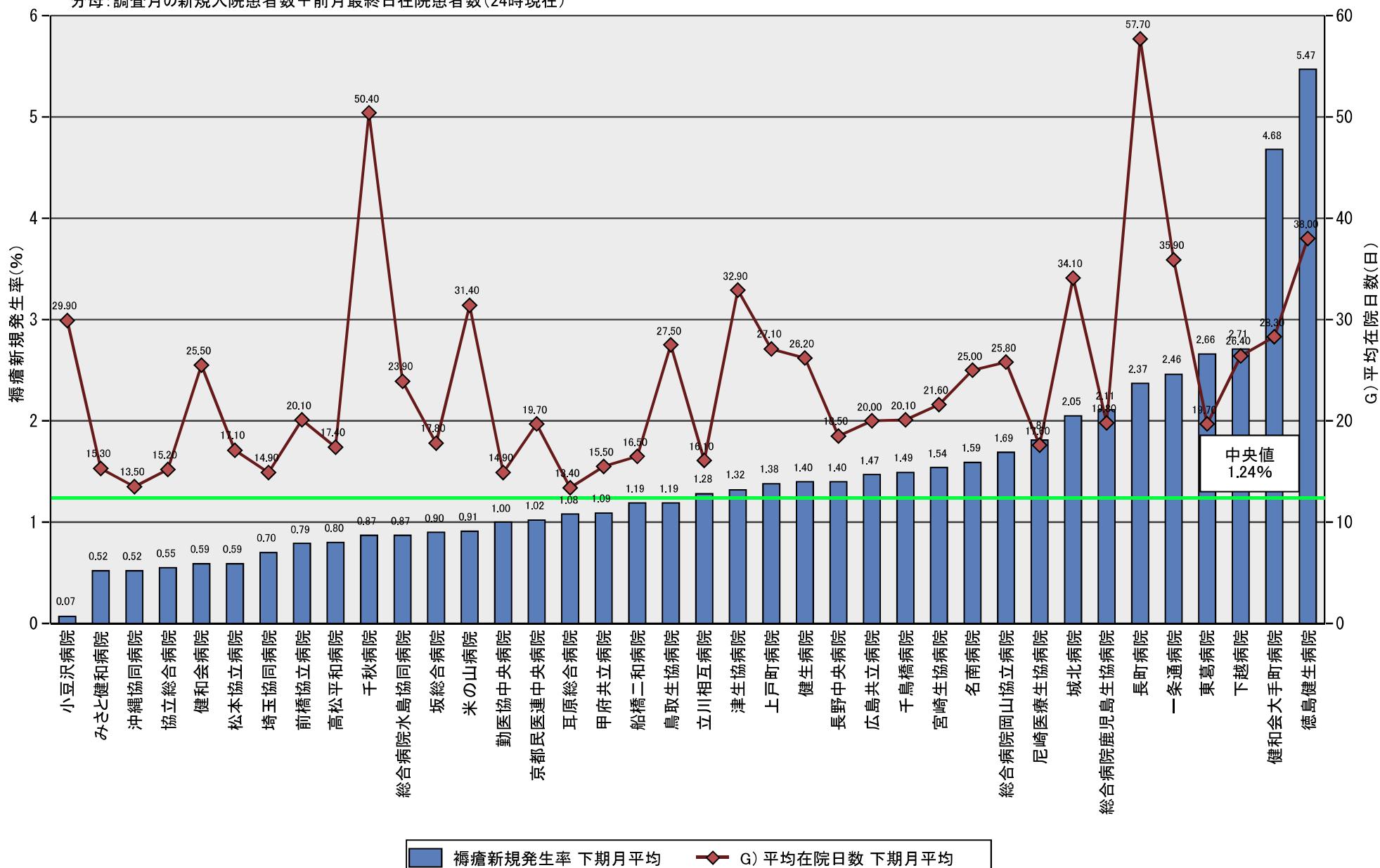
未回答：当該指標について未回答の場合

-：該当なし

回答項目	褥瘡新規発生率						
	7月	8月	9月	10月	11月	12月	平均
勤医協中央病院	0.50	1.27	1.34	0.75	1.21	0.93	1.00
一条通病院	2.02	2.53	1.23	2.02	2.60	4.28	2.46
健生病院	0.34	1.13	1.28	0.51	1.89	3.20	1.40
坂総合病院	0.76	1.21	0.34	1.35	0.44	1.35	0.90
長町病院	3.11	0.50	0.52	5.00	2.59	2.79	2.37
前橋協立病院	0.95	0.44	0.96	0.23	0.43	1.74	0.79
埼玉協同病院	0.67	0.20	0.42	0.83	0.93	1.11	0.70
船橋二和病院	0.95	1.65	1.04	0.87	1.27	1.32	1.19
みさと健和病院	0.14	0.00	0.86	0.69	0.56	0.86	0.52
小豆沢病院	0.46	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07
東葛病院	2.28	1.59	3.02	2.18	3.48	3.42	2.66
立川相互病院	1.24	1.68	1.17	1.33	1.05	1.19	1.28
下越病院	1.65	1.44	2.58	3.30	3.31	4.10	2.71
城北病院	2.46	2.48	2.59	1.46	1.58	1.80	2.05
甲府共立病院	2.10	0.81	0.42	0.99	1.25	0.95	1.09
長野中央病院	0.76	1.77	1.28	1.80	0.60	2.26	1.40
健和会病院	0.77	0.24	0.00	1.03	0.99	0.52	0.59
松本協立病院	0.62	0.86	1.02	0.61	0.00	0.41	0.59
協立総合病院	0.59	0.29	0.59	0.59	0.69	0.58	0.55
名南病院	0.70	2.27	2.42	2.41	0.71	0.99	1.59
千秋病院	2.03	1.02	0.29	0.83	0.84	0.27	0.87
津生協病院	1.19	1.09	1.52	1.51	1.52	1.12	1.32
京都民医連中央病院	1.08	1.32	0.93	0.73	0.58	1.47	1.02
耳原総合病院	1.67	0.77	0.74	1.34	0.63	1.35	1.08
尼崎医療生協病院	0.99	2.20	1.72	1.89	1.82	2.30	1.81
鳥取生協病院	0.60	0.58	1.98	0.64	1.00	2.35	1.19
総合病院水島協同病院	0.95	0.56	1.15	0.57	1.45	0.56	0.87
総合病院岡山協立病院	1.71	1.35	1.21	1.17	2.88	1.83	1.69
広島共立病院	1.08	2.21	1.24	0.70	2.05	1.51	1.47
徳島健生病院	6.10	5.34	6.23	6.96	3.02	5.30	5.47
高松平和病院	0.67	0.00	1.07	1.10	1.01	0.93	0.80
健和会大手町病院	4.26	4.85	5.42	3.93	4.75	4.90	4.68
千鳥橋病院	0.96	1.65	1.47	1.33	1.81	1.74	1.49
米の山病院	1.28	2.02	0.51	0.75	0.51	0.45	0.91
上戸町病院	0.99	1.48	1.97	1.00	1.47	1.36	1.38
富崎生協病院	1.27	0.41	1.40	2.52	1.64	1.96	1.54
総合病院鹿児島生協病	1.34	1.68	2.65	1.64	2.83	2.59	2.11
沖縄協同病院	0.99	0.22	0.11	0.45	0.69	0.67	0.52
最小値	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.07
25%値	0.72	0.52	0.63	0.71	0.69	0.93	0.87
中央値	0.99	1.24	1.19	1.07	1.23	1.36	1.24
75%値	1.67	1.68	1.67	1.76	1.87	2.29	1.67
最大値	6.10	5.34	6.23	6.96	4.75	5.30	5.47
	%	%	%	%	%	%	%

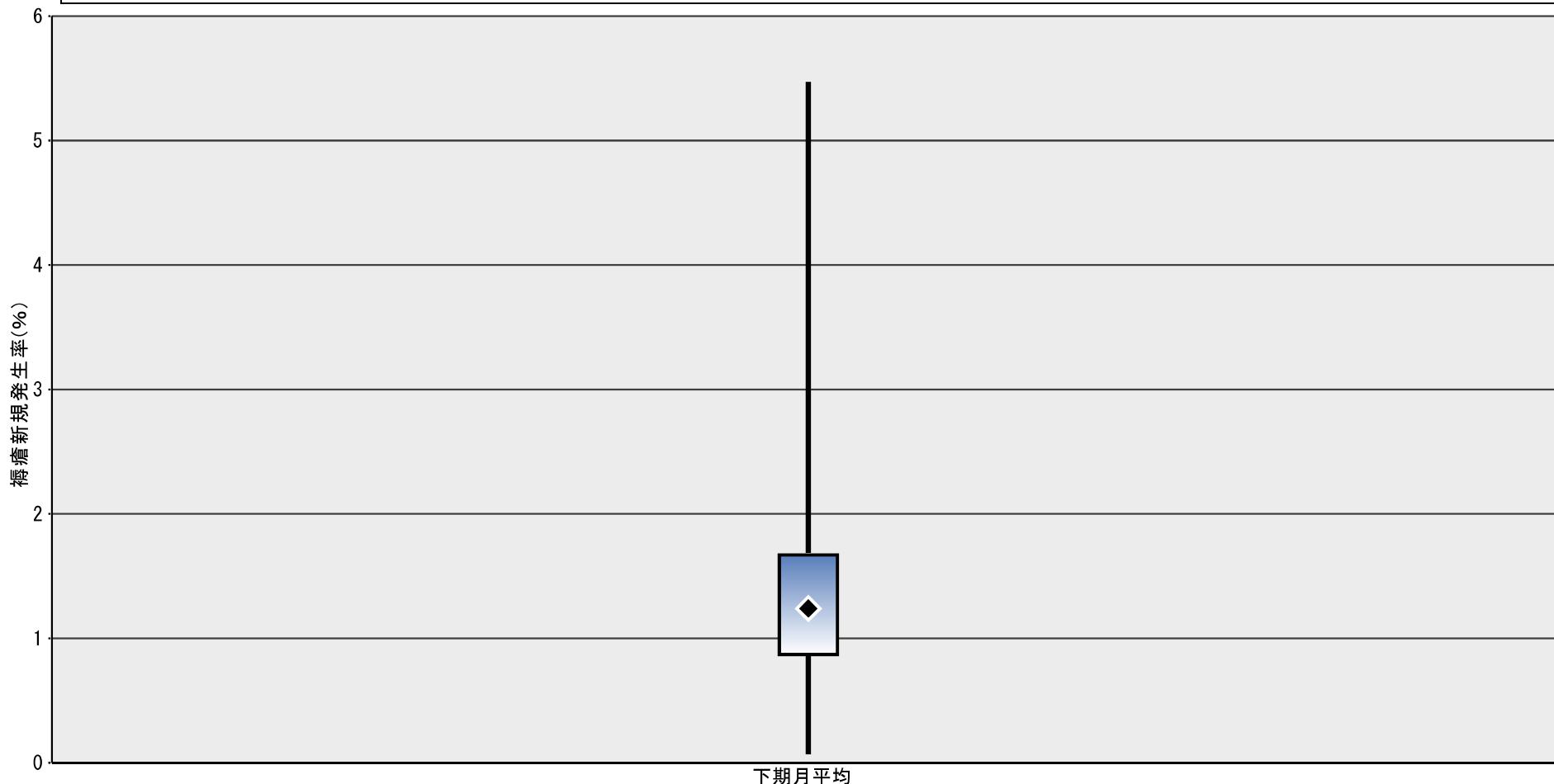
# 褥瘡新規発生率

分子: 入院後に新規に発生した褥創の数(別部位は1として計測)  
 分母: 調査月の新規入院患者数+前月最終日在院患者数(24時現在)



## 褥瘡新規発生率

分子: 入院後に新規に発生した褥瘡の数(別部位は1として計測)  
分母: 調査月の新規入院患者数+前月最終日在院患者数(24時現在)



### 褥瘡新規発生率

最小値	0.07
25%値	0.87
◆ 中央値	1.24
75%値	1.67
最大値	5.47
● 自病院	(なし)

